教育ＧＰ「新世代到達目標型教育プログラムの構築」補助事業
「教員ポートフォリオ」の導入について

教育室　教育ＧＰ推進室

【主旨】

教育室では，新たな教育改善活動として，学生による評価システムと教員の自己省察に基づく「教員ポートフォリオ」の導入準備を進めている。

ここでいう「教員ポートフォリオ」とは、教員が自らの教育活動を振り返り、その課題を確認しながら改善を進めていけるような記録の方法であり、本ＧＰでは、個々の教員が参加したＦＤの成果を振り返ることで、改善の課題を明確にできるような仕組みとする。具体的には、「教員活動状況調査システム（以下、調査システム）」の教育活動に関する一項目である「ＦＤ等参加」に学内ＦＤ出席記録をシステマティックに取り込み、各ＦＤについて教員が成果報告を入力する仕組みを導入する。

以下，ポートフォリオの仕組み，出席データの管理・作業手順等について概要を示す。

【ＦＤ出席データの作成・管理，調査システムへの取り込み，成果報告の方法】

①　出席データ作成（開催者）

ＦＤ開催者（人材育成推進室（ＦＤ部会），部局等）は，事前にＦＤ情報を『いろは』「全学ＦＤ情報」に入力し，ＦＤ研修開催当日には情報化推進Ｇが貸し出す「ＩＣカード読み取り端末（以下、ＩＣＲ）」で出席者の職員証を読み取ることで出席データ（職員番号、読み取り日時）一覧を取得し，教育室教育企画グループに送付する。(E-mail kyoiku-senmon@office.hiroshima-u.ac.jp)

②　調査システムへの取り込み（教育室）

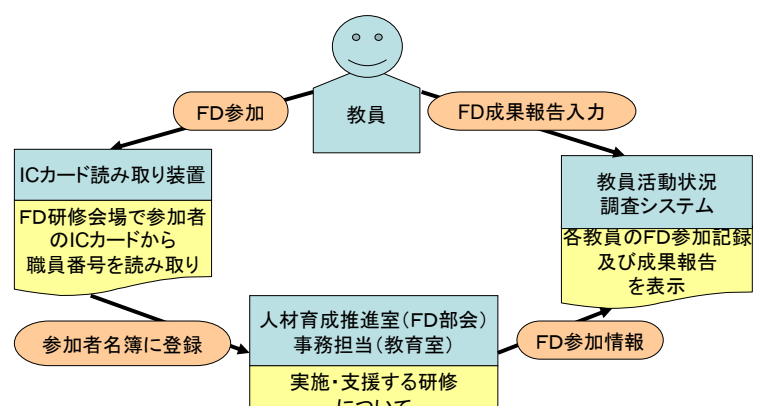
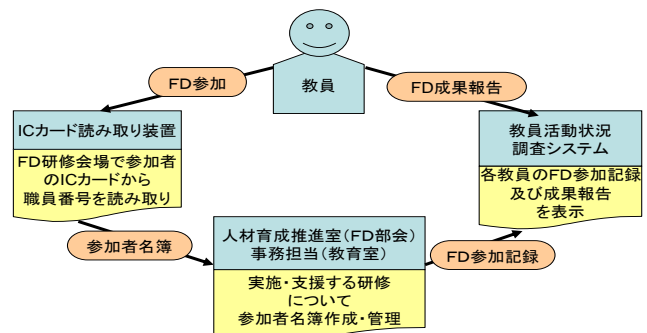
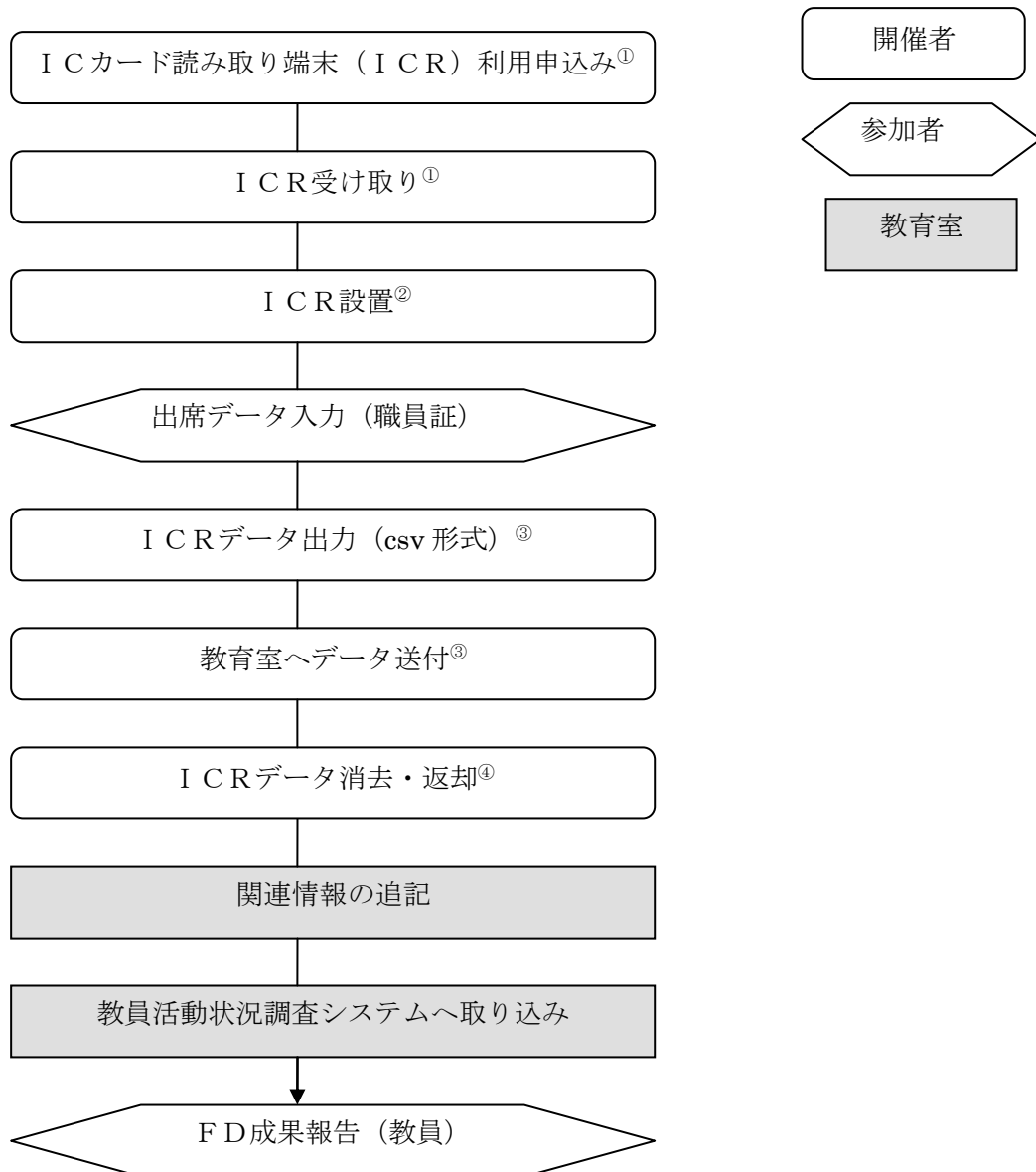
教育室は、出席データを調査システムへ一括して取り込む。その際、『いろは』「全学ＦＤ情報」を参照し、ＦＤの「タイトル」等調査システムの入力項目に対応する情報を付加した上で取り込む。

③　ＦＤ成果報告(教員)

教員は、調査システムに取り込まれた各ＦＤ情報の「成果報告（記述式 250 文字以内)」欄に実践への応用など具体的な成果を入力する。

この仕組みを導入することで、従前は個々の教員に任されていたＦＤ出席情報の入力の負担が軽減される。また、全教員のＦＤに関する（成果報告を含む）情報を一覧できる出力方法を追加するため、全学的なＦＤの成果を検証し、ＦＤのあり方を検討するために有益な資料を得ることができる。なお、ＩＣＲについては、情報メディア教育研究センターが開発した製品を利用し，社会連携・情報政策室情報化推進Ｇが保管・貸出を担当する。

【導入スケジュール】

４月　２日（金）　ＩＣＲ導入（新採用者基礎
４月　６日（火）　ＩＣＲによるＦＤ参加者名
４月２３日（金）　全学評価委員会において報
５月上旬　「教員ポートフォリオ」に
４月～８月　出席データ保管
８月上旬　調査システムへの出席デー

「教員ポートフォリオ」の利用に関わる作業手順

① ＩＣカード読み取り端末（ＩＣＲ）は、社会連携・情報政策室情報化推進Ｇが保管・貸出します。「いろは」「施設予約」から申込み、受け取りに行ってください。(受取日を予約開始日、返却日を予約終了日としてください。)

② ＩＣＲは、付属の取扱説明書にしたがってご使用ください。不明な点は、情報化推進Ｇにお問い合せ下さい。

③ データはｃｓｖファイルとして出力し、教育室にご送付下さい。氏名・所属一覧として返送いたします。（ＩＣＲのデータは、職員番号と読み取り日時のみです。その場で出席者チェックが必要な場合は、別途名簿をご用意頂く必要があります)

④ データを消去してから返却してください。(方法は取扱説明書に記載されています。)

問合せ先：
教育室教育企画グループ
内線　2282（金井）